

「地球を笑顔に！」プロジェクト 珠洲市立三崎中学校

珠洲市の海は美しいと思いますか？多くの人が「はい」と答えるでしょう。しかし、実際は、砂浜は海洋ゴミであふれています。これは私たちにとって深刻な問題だと思います。

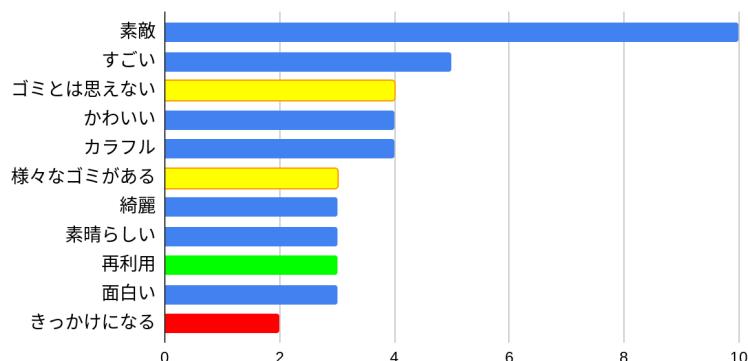
私たち三崎中学校生は、この問題を解決するために取り組みをしてきました。私たちは珠洲市の海洋ゴミを調査することから始めました。多くのゴミが海外から来ていることがわかりました。これは日本だけの問題ではなく、地球規模の問題だと気づきました。三崎の砂浜にはサーフィンやキャンプを楽しみに訪れる人々が多くいますが、ゴミを見てがっかりする人もいるかもしれません。私たちは、「どうすればこのがっかりを『来てよかったという』喜びに変えられるのか？」ということを考えました。

この状況を解決する方法を考えましたが、簡単ではありませんでした。私たちは、この問題がもっと大きなものであり、多くの人々の協力が必要であることに気づきました。そこで、私たちはこの状況について人々に知ってもらう取り組みをしました。その一つに、海洋ゴミを使ってアートを作成しようというものでした。それから、私たちが作った作品を昨年の文化祭で展示し見つめらうことができました。そして、見てくれた多くの人々が、この問題を知つてもらう素敵なかつだと思ってくれたのです。



4月には、修学旅行で訪問した東京で、私たちの活動を広めました。そこにいた人たちは私たちのアートを見て、どんな活動をしているのかに興味を持ってくれました。私たちの作品や取り組みを見て笑顔になる人たちを見てることができて、とても嬉しかったです。

私たちの作った「海ごみアート」を見てどう思いましたか。



最近、私たちはプロジェクトをさらに広げていくためにイベントを開催しました。そのイベントでは、兵庫県の生徒たちと一緒に海ごみアートを作成しました。私たちの取り組みが成功するためには、日本の他の生徒とつながることが重要です。はじめは、みんなで三崎の砂浜でゴミを拾いました。しかし、その時はあまりコミュニケーションが取れませんでした。しかし、作品を作るうちに、自然と親しくなり、笑顔でいっぱいになったのです。最後には、私たちの作品を完成させることができました。その作品がその時の私たちと同じくらい嬉しそうにしているように見えました。



さらに、三崎の生徒たちは、年次SDGs発表会で私たちの海洋アートを展示します。そして、この問題を解決するための私たちの取り組みをみんなに知ってもらいたいと思います。



海ごみアートのテーマは、

「復興×環境～手と手を取り合い、みんなを、地球を笑顔に！～」

虹色の手を持つタコで「明るい未来に向かって、たくさんの人と手を取り合ってつながっていきたい」という思いを表現しました。

そして海の守り神とも呼ばれている亀をモチーフにし、「海ごみを減らし、海をきれいにしていきたい」という思いを表現しました。

活動の全てを通して、私たちの小さなプロジェクトがここまで来たことに驚いています。これは三崎海岸を掃除するためだけの地域の取り組みだと思っていましたが、私たちが思っていた以上に大きくなっていました。いま、私が思うこと。それは、問題を解決する鍵は、「つながりを作ること」だということ。

さあ、明るい未来ともっと多くの笑顔のために、一緒に行動しましょう！

(英語バージョン)

Do you think the sea in Suzu City is beautiful? Many people would say, yes. However, the reality is that the sea is full of marine trash. This is a serious problem for us.

The students of Misaki Junior High School are dedicated to solving this problem.

We began by investigating marine trash in Suzu City. We found that much of the trash comes from overseas. We realized that pollution is not just a problem for Japan, but a global issue. Many people visit Misaki beach to surf and camp, but some may have felt disappointed when they saw the trash there. We thought, “how could we transform their disappointment into appreciation?

We thought about how to solve this situation, but it was not easy. We realized that this was a larger problem and required collaboration from many people. So, we began to tell people about this situation. We did this by creating art with marine trash. We displayed this art at our school festival last year. Many people thought it was a creative way to share the issue.

In April, we promoted our activities during a school trip to Tokyo. People saw our art and showed interest in what we were doing. It was heartwarming to see their smiling faces.

Recently, we organized an event to further promote our project. For the event, we created marine art trash, but this time with students from Hyogo Prefecture. For our mission to succeed it's important to connect with other students in Japan. At first, as we picked trash from Misaki beach, there wasn't much communication. However, as we made our art, we naturally became close and shared many smiles. Finally, we completed our artwork, and it looked as happy as we all were.

Additionally, the Misaki students will showcase our marine art at the annual SDGs presentation. I want everyone to know about our efforts to solve this problem.

Our marine-trash art event, themed “Recovery × Environment: Hand in Hand for a Smiling Earth.” A turtle and an octopus are the central subjects of the artwork. The octopus with rainbow-colored arms symbolizes our hope to connect with many people and create a brighter future together. The turtle, often seen as a guardian of the ocean, represents our desire to reduce marine pollution and keep our oceans clean.

Overall, I'm surprised how far our small project has come. I thought this would only be a local effort to clean Misaki beaches. But it has grown far more than we ever thought. I understand now that making connections is key when solving problems.

Let's act together now for a brighter future and more smiles!

このみんなで作ったアートを発信していこうと考えました。

みんなで作ったアートの画像と1人1人の思いを載せてポスターを作りました。

ぜひ、周りの人にも紹介して、たくさんの人々に環境について考え、行動してほしいと思います。



減らそう

海ごみ



み

三崎の海岸で拾った海ごみで
素敵なアートを作ってみませんか？

株洲市立三崎中学校

私は、海ごみがゼロになるまで、ごみを資源と考えてほしいと思いました。簡単にできるので、たくさんつくる、株洲市を「芸術の町」にできたらいいという思いを込めました。

助けよう 母なる海

～きれいな海を未来へ～

株洲市立三崎中学校

僕は、海洋生物に興味があり、「海をきれいにして、海洋生物が過ごしやすくなるように」という気持ちを込めて作りました。

地 増 減
球 や そ う
に そ う
笑 う 海 ご み
顔 を 。



三崎町の砂浜から拾った海ごみ
だけで作品を作ったんだね！

虹色の手を持つタコには
「みんなと手と手を取り合おう」
って意味が込められてるんだって

砂浜に落ちている無数の海ごみを見て悲しくなりました。「海が笑ってる姿が見たい。」そんな気持ちで、海ごみを減らす取組をしてきました！
その一つが海ごみアートです。
みなさんも一緒に作って見ませんか？
興味のある方は珠洲市立三崎中学校まで！

0768-88-2423

今すぐ 地球を笑顔に!



地球は私たちの共通の家です。

海岸清掃に
参加しませんか



海ごみを減らし、
未来を私たちの手で
明るくしましょう。

海ごみでアートを
作ってみませんか

珠洲市立三崎中学校